

事務事業評価調書

事務事業名	地域子育て支援センター事業				
担当部署	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	事業の財源となる国・府補助金事業の実施要綱の変更に伴う要領改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市地域子育て支援拠点事業実施要領、吹田市地域子育て支援事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		地域子育て支援事業として、育児教室やサークル支援に取り組む施設に対し、補助金を交付している。											
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	就学前の在宅の児童とその保護者											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	地域における子育て支援機能を強化し、「子育ての地域協働の構築」や「子育ての主体形成」を目指す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域で親子の友だちづくりが広がり、孤立した育児や育児不安が軽減される。また、子育て支援に関わる機関や団体の連携が進み、地域ぐるみの子育て支援が広がる。												
(7) 事業概要	<p>私立保育所等に対して、育児教室をはじめ、子育てサークルの育成・育児相談・施設の一部開放など地域子育て支援事業にかかる費用について予算の範囲内で補助を行う。</p> <p>また、保育所等を拠点として子育て家庭への支援活動・育児不安についての相談指導・子育てサークル支援などを行う事業について、私立保育所等へ業務を委託する。</p> <p>さらに、保健センターや幼稚園、民生・児童委員や地区福祉委員等関係機関との連携を進め、地域の子育て環境の基盤形成を行う。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	01	大	03	中	01	小	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		49,078	48,635	50,141	49,434	51,187							
	人件費	職員数	2.05	1.35	1.40	1.40	1.40							
		総額(B)	17,122	10,853	11,438	11,060	11,273							
	総事業費(A+B)		66,200	59,488	61,579	60,494	62,460							
	特定財源(C)		32,324	34,753	33,007	33,062	33,585							
	(内訳)	国	7,357	8,268	7,684	7,684	7,684							
		府	24,967	26,485	25,323	25,378	25,901							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		33,876	24,735	28,572	27,432	28,875							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		33,876	24,735	28,572	27,432	28,875								
財源計(C+D)		66,200	59,488	61,579	60,494	62,460								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	私立保育所及び認定こども園 4か所										
			②											
			③											
	主な委託内容		地域子育て支援拠点事業(一般型)											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	私立保育所及び認定こども園 17か所											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 1歳半及び0歳児育児教室延べ実施回数	目標値	(単位:回)	1,232.00	1,232.00	1,264.00
			実績値	(単位:回)	931.00	902.00	
		達成度(%)				75.6	73.2
	目標値の積算方法 1歳半育児教室(4コース×8回)×21か所、0歳児育児教室(4コース×7回)×20か所	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		63.90	67.49	
			一般財源(単位:千円)		26.57	30.83	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 1歳半及び0歳児育児教室参加組数	目標値	(単位:組)	3,052.00	3,168.00
	実績値			(単位:組)	1,163.00	1,814.00	
	達成度(%)				38.1	57.3	
	目標値の積算方法 1歳半健診対象者及び各年度の5月1日付0歳児数から保育所入所児数を除いた数のうち、事業実施園全体に占める私立実施園の9割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		51.15	33.35	
			一般財源(単位:千円)		21.27	15.12	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	① 活動内容				目標		
	② 成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	<p>私立保育所等へ委託と補助を行うことにより、地域ごとの事情に対応したきめ細かな支援に取り組むことができています。 今後も地域子育て支援センターが核となって、安心して子育てができる地域づくりを進める必要があります。 また、地域子育て支援事業に取り組む施設(事業者)が安定的にサービスを提供し続けることができるよう、引き続き、より身近な地域で支援を受けることができる環境づくりを進める必要があります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	地域子育て支援センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00252				

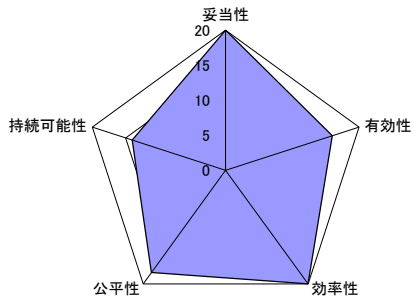
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00252
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>育児教室、地域開放行事、育児相談、施設の一部開放等を実施することにより、仲間づくりが広がり、保護者の育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を支える環境づくりが図られています。 なお、平成29年度は、地域子育て支援事業の補助対象施設を17か所から18か所に増やすなど、事業を拡充する予定です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	一時預かり助成事業				
担当部署	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成3年度	改正内容	事業の財源となる国・府補助金事業の実施要綱の変更に伴う要領改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市私立保育所等一時預かり事業助成金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	22							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一時預かり事業を実施する私立保育所及び認定こども園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な預かりや、緊急時又は育児負担軽減等の保育需要に対応できるような環境を整備します。 安心して子育てができる環境を整備することにより、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減し、児童福祉の向上に寄与します。												
(7) 事業概要	通常保育の対象とならない断続的・一時的な就労を保障するため、保育所等を利用していない家庭を対象とした、週3日までの一時的な預かりや、保護者の傷病等による緊急的な一時預かり、又は、育児負担の軽減等を理由とする一時預かりを実施する私立保育所等に対し、事業にかかる費用について、予算の範囲内で助成金を交付します。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,420	10,633	19,580	11,999	26,840							
	人件費	職員数	人	0.05	0.30	1.00	1.00	0.70						
		総額(B)	千円	418	2,412	8,170	7,900	5,637						
	総事業費(A+B)		22,838	13,045	27,750	19,899	32,477							
	(内訳)	特定財源(C)		14,946	7,113	13,052	7,998	17,892						
		国		7,473	3,569	6,526	3,999	8,946						
		府		7,473	3,544	6,526	3,999	8,946						
	(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		7,892	5,932	14,698	11,901	14,585						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		7,892	5,932	14,698	11,901	14,585								
財源計(C+D)		22,838	13,045	27,750	19,899	32,477								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容		③											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	私立保育所及び認定こども園(7か所)										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一時預かり事業を実施する私立保育所等の箇所数	目標値	(単位:箇所)	11.00	11.00	13.00
			実績値	(単位:箇所)	6.00	7.00	
			達成度(%)		54.5	63.6	
		目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画等に基づく目標値。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,174.17	2,881.29
				一般財源(単位:千円)	988.67	1,738.71	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 一時預かり延べ利用児童数	目標値	(単位:人)	8,750.00	9,300.00	11,050.00
			実績値	(単位:人)	3,422.00	3,163.00	
			達成度(%)		39.1	34.0	
		目標値の積算方法	子ども・子育て支援事業計画に基づく数値。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.81	6.29
				一般財源(単位:千円)	1.73	3.76	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が指標で困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		子ども・子育て支援事業計画の供給量を充たすため、今後、実施施設のさらなる拡充が必要です。実施施設の拡充のためには、助成金の体系の見直しや、市単独の助成を組み合わせる等の検討が必要です。				

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	一時預かり助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00253				

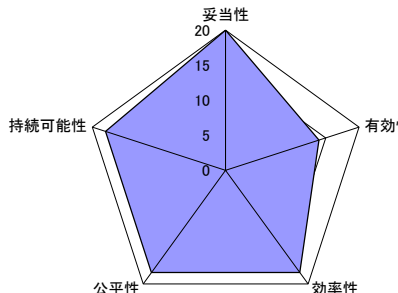
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00253
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、児童福祉法に基づく事業として位置付けられており、国・府からの補助を受けて対象の私立保育所等に対し助成を行っています。 多様な保育ニーズに応えていくために、市単独の助成を組み合わせる等、子ども・子育て支援事業計画に基づき、事業を拡充するための方法についても検討していく必要があります。 なお、平成29年度に子ども・子育て支援事業計画の中間年見直しを行うことになっており、実態把握に努め、目標数値の適正な設定を行っていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	子育て広場助成事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	補助基本額の増額											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市子育て広場事業補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	就学前の在宅の児童とその保護者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域で子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、育児不安を軽減します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域の中で安心して子育て・子育てができる環境整備が図られます。													
(7)	事業概要	子育ての負担感を軽減するため、乳幼児及びその親が気軽に集い、交流し、子育ての喜びや楽しみを共有できる「子育て広場」を設け、子育てに関する相談その他の子育て支援に係る事業を行う団体に対し、補助金を交付します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	01	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30,684	30,596	37,153	36,761	37,153							
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	1.00	1.00	0.70						
			総額(B)	千円	5,012	4,824	8,170	7,900	5,637						
		総事業費(A+B)		35,696	35,420	45,323	44,661	42,790							
		特定財源(C)		20,456	22,992	24,768	24,506	24,768							
		(内訳)	国	10,228	11,496	12,384	12,253	12,384							
			府	10,228	11,496	12,384	12,253	12,384							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		15,240	12,428	20,555	20,155	18,022							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	15,240		12,428	20,555	20,155	18,022									
財源計(C+D)		35,696	35,420	45,323	44,661	42,790									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市民団体 8団体										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間の開設日数	目標値	(単位:日数)	2,080.00	2,000.00	2,000.00
			実績値	(単位:日数)	1,725.00	1,736.00	/
		達成度(%)		82.9	86.8		
	目標値の積算方法 週の開設日数(5日)×年間の開館週数(初年度においては25週次年度以降50週)×団体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	20.53	25.88		
			一般財源(単位:千円)	7.20	11.77		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 のべ利用組数	目標値	(単位:組数)	18,200.00	17,500.00
	実績値			(単位:組数)	17,405.00	18,086.00	/
	達成度(%)		95.6	103.3			
	目標値の積算方法 各年度の総開設予定日数×10組	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.04	2.48		
			一般財源(単位:千円)	0.71	1.13		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	本事業の実施により、子育ての負担感の緩和と子育ての仲間づくりが進められています。このことは児童虐待の防止にも寄与していると考えます。今後、身近な地域で親子が交流し、子育ての相談することができる場の提供を進めるため、本事業をさらに充実できるよう検討していきたいと考えております。					

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	子育て広場助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00254				

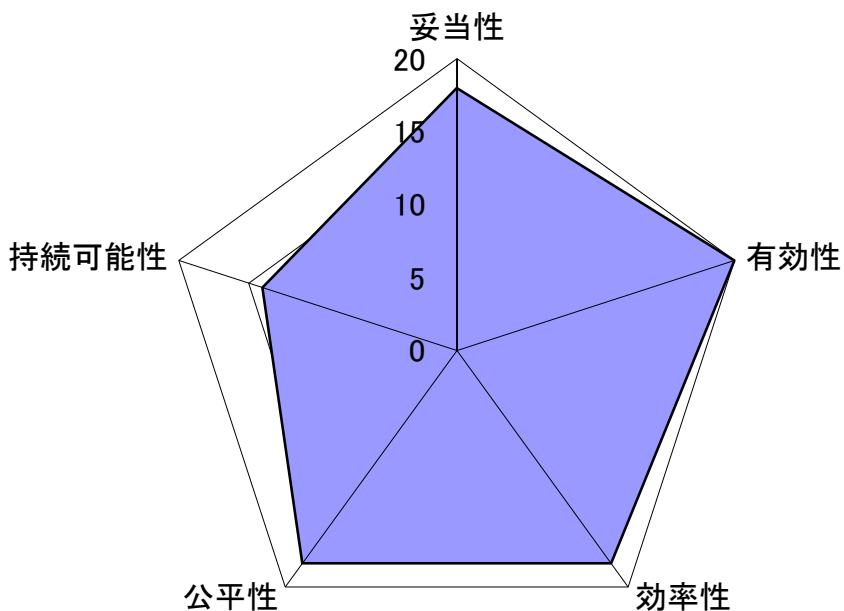
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00254
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>核家族化や少子化により、子育てに関して身近なアドバイスや自分自身の経験が不足し、子育て不安を感じられる保護者が増える中、身近な地域で親子が交流し、相談をすることができる「子育て広場」を設けることにより、子育ての負担感の緩和と子育ての仲間づくりが進められています。このことは、児童虐待の未然防止にも寄与しています。また、利用者が支援者側に回る事例も見受けられ、地域の人材育成と子育ての市民相互支援の輪が広がり、子育て環境の整備を促進していると考えます。</p> <p>平成28年度に運営費の補助金を増額し、事業内容の充実を図り、「支える人を支える」体制づくりを進めています。一方で、開設箇所の地域バランスや事業運営団体の選定方法などを検討していく必要があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	児童会館管理事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	児童会館・児童センター											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童一人ひとりが、本来持っている能力や可能性を引出し発展させ、心身共に健全な育成を図れます。												
(7) 事業概要	児童会館・児童センターにおける施設維持管理													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	08	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		64,243	64,301	82,538	73,048	69,134							
	人件費	職員数	人	1.20	1.20	1.30	1.30	1.20						
		総額(B)	千円	10,023	9,647	10,621	10,270	9,663						
	総事業費(A+B)		74,266	73,948	93,159	83,318	78,797							
	特定財源(C)		160	95	16,410	6,767	127							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	16,250	6,654	0							
		その他	160	95	160	113	127							
	市負担(D)		74,106	73,853	76,749	76,551	78,670							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		74,106	73,853	76,749	76,551	78,670								
財源計(C+D)		74,266	73,948	93,159	83,318	78,797								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延べ使用証交付者数	目標値	(単位:人)	40,278.00	40,981.00	41,513.00
			実績値	(単位:人)	23,492.00	29,539.00	
			達成度(%)		58.3	72.1	
	目標値の積算方法 対象児童数(5月1日現在の児童会館を設置している各小学校区の乳幼児数と小学校在籍数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.15	2.83	
			一般財源(単位:千円)		3.14	2.60	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 延べ利用児童数	目標値	(単位:人)	256,464.00	262,116.00	267,114.00
			実績値	(単位:人)	242,331.00	246,342.00	
			達成度(%)		94.5	94.0	
	目標値の積算方法 対象児童数(5月1日現在の市内全域の乳幼児数と小学校在籍数)×50%×月1回×12か月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.31	0.34	
			一般財源(単位:千円)		0.30	0.31	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		各児童館に館長を配置し、施設の維持管理、児童厚生員の指導・管理を行うことにより事業内容の充実を図るとともに、経費の抑制に努め、より効率的な運営に努めているところですが、施設や備品の老朽化により、年々修繕料の負担が大きくなっています。				

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	児童会館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00274				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00274
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業費の大部分が光熱水費等や清掃等の委託料で占められているこの事業では、これ以上の低減余地はありません。さらに、施設や備品の老朽化により修繕料の負担も大きくなってきています。この事業の目的は、施設の維持管理により子ども達が安心して遊ぶことができるようにすることであり、指標項目のみでその成果を図ることは困難ですが、概ね単位あたりのコストに見合った成果をあげているものと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	児童会館運営事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	保護者が同伴している乳幼児及び小学生												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	児童に健全な遊びを提供し、その健康を増進し、情操を豊かにします。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童一人ひとりが、本来持っている能力や可能性を引出し発展させ、心身共に健全な育成を図れます。												
(7) 事業概要	<p>児童会館・児童センター(11施設)に児童厚生員を配置し、児童に対する遊びの指導や、様々な行事を実施し児童の健全育成を図っています。また、就園前の乳幼児を対象にした幼児教室を実施し、友だちとの関わりや簡単なルールのある遊び、保護者同士の交流等を通して、親子が楽しく向かい合って遊びながら友だちづくりを進めています。</p> <p>平成21年度から毎日開館(5月3～5日・年末年始を除く)を実施しており、開館時間は、4月から9月は午前10時～午後6時、10月から3月は午前9時30分～午後5時30分。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	08	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		260,675	250,839	256,452	248,412	259,125							
	人件費	職員数	人	1.20	1.20	1.30	1.30							
		総額(B)	千円	10,023	9,647	10,621	10,270							
	総事業費(A+B)		270,698	260,486	267,073	258,682	268,788							
	特定財源(C)		20,813	21,460	20,770	20,539	21,181							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	19,753	20,434	19,786	19,848	20,434							
		その他	1,060	1,026	984	691	747							
	市負担(D)		249,885	239,026	246,303	238,143	247,607							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		249,885	239,026	246,303	238,143	247,607								
財源計(C+D)		270,698	260,486	267,073	258,682	268,788								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	千里山竹園児童センター管理運営協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		千里山竹園児童センターの管理運営業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 行事提供数	目標値	(単位:回)	7,854.00	7,832.00	7,832.00	
			実績値	(単位:回)	8,214.00	7,512.00		
			達成度(%)		104.6	95.9		
	目標値の積算方法	行事提供数2回/日×開館日数(356日)×11館	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31.71	34.48	
				一般財源(単位:千円)		29.10	31.75	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 行事の参加者数	目標値	(単位:人)	117,480.00	117,480.00	117,480.00	
			実績値	(単位:人)	92,100.00	83,141.00		
			達成度(%)		78.4	70.8		
	目標値の積算方法	行事提供数2回/日×開館日数(356日)×11館×行事参加者数15人/回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.83	3.12	
				一般財源(単位:千円)		2.60	2.87	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		児童会館・児童センターの運営については、専門性のある非常勤職員を配置し、就学前の子どもから小学生までを対象としたさまざまな行事を展開し、充実を図っています。					

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	児童会館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	000275				

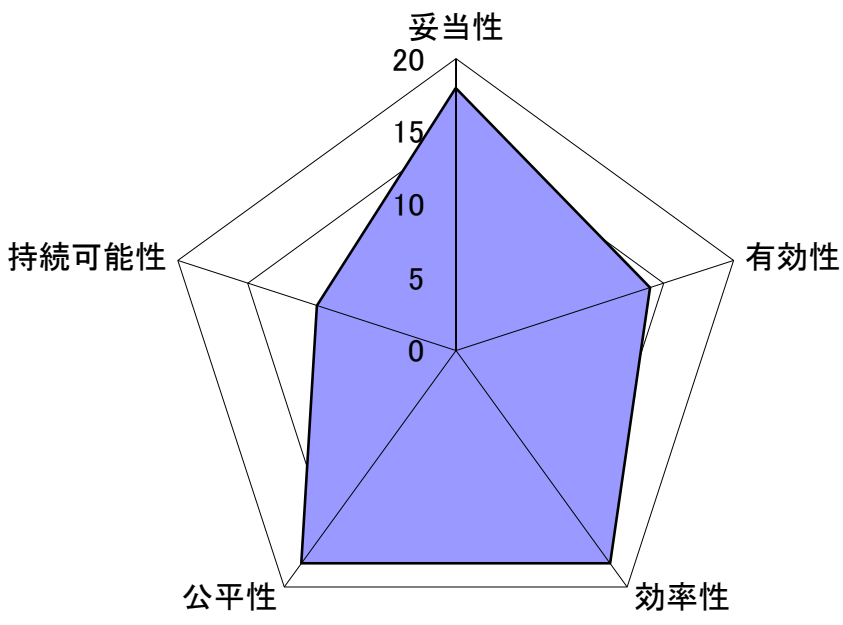
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	78	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	000275
-----	--------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>児童会館・児童センターは、地域の子ども達が健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにすることを実現するとともに、子育て中の親子の交流の場や仲間づくりを目的として市内11か所設置されています。また、各児童会館・児童センターは、子どもたちの居場所・仲間づくりの場としてだけでなく、地域の子育て支援の拠点の1つとして、貴重な役割を担っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	(仮称)北千里児童センター整備事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更					
(2) 直近の改正	平成26年度							
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	児童センター					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童一人ひとりが、本来持っている能力や可能性を引出し発展させ、心身共に健全な育成を図れます。						
(7) 事業概要	市内を6ブロックに分け、1ブロックに児童会館・児童センターを2館整備する構想に基づき、11館の児童会館・児童センターを整備しています。未整備の北千里地域に児童センターを整備します。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
				目標	北千里地域における児童センターの整備。		
				達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		北千里駅周辺活性化ビジョンに基づき、北千里地域における児童センターの整備を検討しました。				

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	(仮称)北千里児童センター整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01289				

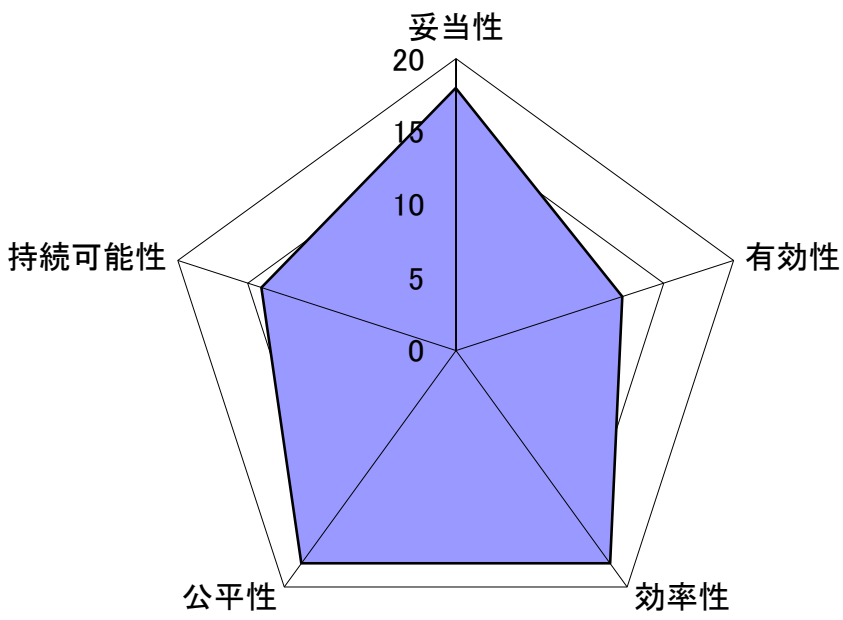
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01289
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内を6ブロックに分け、1ブロックに児童会館・児童センターを2館整備する構想に基づき、11館の児童会館・児童センターを整備しています。北千里駅周辺活性化ビジョンに基づき、北千里地域に新たな児童館の整備について検討します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	あかちゃんの駅推進事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容	2年を単位とする更新制を、5年を単位とする更新制に変更。					
(2)	直近の改正	平成27年度							
(3)	根拠法令等	吹田市あかちゃんの駅登録事業実施要領							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	乳幼児及びその保護者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄ることのできる施設内に授乳及びおむつ替えができるスペースを提供します。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを有する施設をあかちゃんの駅として登録し、周知することにより市民が安心して子育てを行う環境整備を推進します。							
(7)	事業概要	外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを有する施設をあかちゃんの駅として登録し、周知することにより市民が安心して子育てを行う環境整備を推進します。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	104	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
			総額(B)	千円	0	0	0	0	806
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	910	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	910	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	910		
財源計(C+D)		0	0	0	0	910			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	未登録の認可保育所等にあかちゃんの駅に登録するよう働きかけます。			目標	あかちゃんの駅への新規登録。	
	②	成果内容	子育て環境の整備。			達成状況	ホームページや市民に配布しているおさんぼマップにあかちゃんの駅を記載し、あかちゃんの駅を広報し、周知しました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業は、外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを有する施設をあかちゃんの駅として登録し、周知することにより市民が安心して子育てを行う環境整備を推進することを目的としており、登録箇所数も市内で100か所を超え、事業費の増大も見込まないことから、効果的な運営がなされていると評価しています。事業開始時の目標数には達していますが、登録施設が増えることで子育て中の市民が気軽に外出できる環境整備につながることから、今後とも未登録の私立保育所や小規模保育施設などの民間施設を含めた施設登録数の増加に繋がる取組を検討したいと考えています。					

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	あかちゃんの駅推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01290				

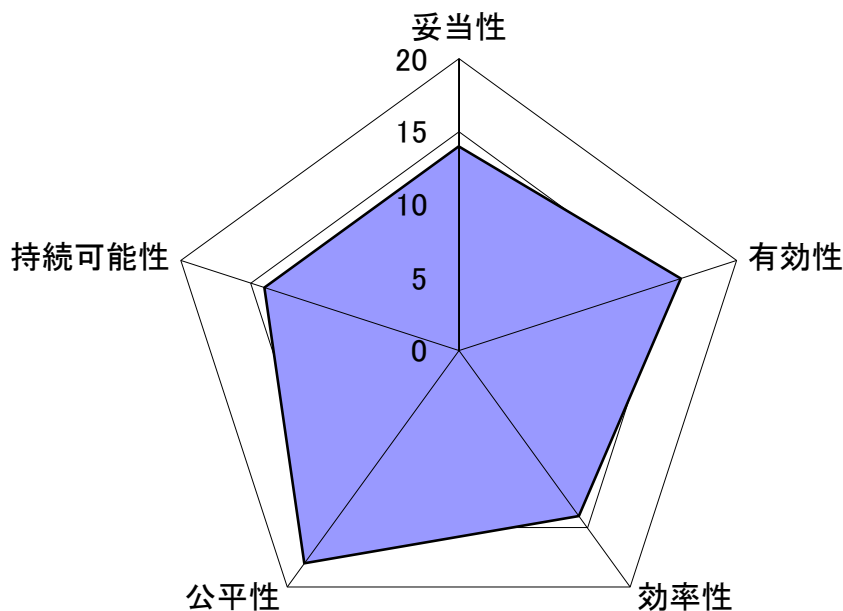
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01290
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業開始より6年で施設登録及び市民への周知は進んでいると考えている。育児教室を実施している保育所や各種検診を行う保健センター、また児童館等の乳児対象の事業を実施する施設等では利用もあり、本事業が一定有効に機能していると分析している。利用者層の違いにより施設間での利用頻度に差はあるが、登録施設数が増えることで子育て中の市民が気軽に外出できる環境整備につながるので、既存施設で対応できる範囲で登録を促進していきたい。更新については、更新期間を2年から5年に延長した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	子ども・子育て支援審議会事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	子ども・子育て支援法:行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律十一による改正											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援審議会条例、子ども・子育て支援審議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	11							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市子ども・子育て支援事業計画ほか本市の子ども・子育て支援に関する施策												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	計画に基づく事業の適切な実施												
(7) 事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	就学前と小学生の児童を対象に、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子育て支援の一層の充実、保育の量的拡大・確保を図ります。												
	平成27年3月に策定した吹田市子ども・子育て支援事業計画に基づく事業の進捗状況を把握し、学識経験者や教育・保育関係者や公募による市民等から構成される吹田市子ども・子育て支援審議会において点検・評価し、その結果を市民に公表します。また、特定教育・保育施設や特定地域型保育事業の利用定員の設定に関し同審議会にて審議を行うほか、量の見込みや確保方策の見直しが必要になった場合は、必要に応じて同審議会に諮り計画を見直します。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	01	大事業	12	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		535	325	406	295	662							
	人件費	職員数	人	0.50	1.10	0.60	0.60	0.60						
		総額(B)	千円	4,176	8,843	4,902	4,740	4,832						
	総事業費(A+B)		4,711	9,168	5,308	5,035	5,494							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,711	9,168	5,308	5,035	5,494							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,711	9,168	5,308	5,035	5,494								
財源計(C+D)		4,711	9,168	5,308	5,035	5,494								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市子ども・子育て支援審議会の開催回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 計画の進行管理、見直しなどに必要な回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,056.00	1,732.33		
			一般財源(単位:千円)	3,056.00	1,732.33		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容 教育・保育の提供(確保)及び地域子ども・子育て支援事業の点検・評価数	目標値	(単位:項目)	0.00	14.00
	実績値			(単位:項目)	0.00	14.00	
	達成度(%)		0.0	100.0			
	目標値の積算方法 子ども・子育て支援事業計画の教育・保育の提供(確保)及び地域子ども・子育て支援事業事業数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	371.21		
			一般財源(単位:千円)	0.00	371.21		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	平成28年度は吹田市子ども・子育て支援事業計画に掲載の教育・保育の確保、地域子ども・子育て支援事業及び子ども・子育て支援関連施策等について平成27年度の事業実績の点検・評価を行いました。本事業の実施により、子ども・子育て支援事業計画の効果的な推進を図ります。					

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	子ども・子育て支援審議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1410				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	1410
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度は吹田市子ども・子育て支援事業計画の実施状況の評価を行うとともに、本市における子ども・子育て支援に関する施策の実施状況を審議しました。また、特定教育・保育施設の利用定員の設定や特定地域型保育事業の利用定員の設定に関して審議しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「教育・保育及び地域子ども・子育て支援の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」(平成二十六年内閣府告示第百五十九号)に基づき、量の見込みが実績値と大きく乖離している場合における計画の中間見直しを平成29年度に行う予定にしています。

事務事業評価調書

事務事業名	児童会館改修事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	児童会館・児童センター計11館												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	老朽化した施設を改修することにより、利用する子どもや保護者に安全な施設提供を目指します。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	来館する子どもや保護者が、より快適に過ごせるようにします。												
(7)	事業概要	児童会館・児童センターについては、昭和55年から整備し、現在11館ある。利用者の安全を確保するため、築後30年を目途に大規模改修を計画しています。 平成28年度については、朝日が丘児童センターの大規模改修工事を実施しました。また、五月が丘児童センター及び山田西児童センターについては屋上防水改修工事、原町児童センターについては外壁改修工事を実施しました。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	08	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		27,154	19,256	106,335	76,491	8,837							
		人件費	職員数	人	1.09	0.35	0.20	0.20	0.10						
			総額(B)	千円	9,104	2,814	1,634	1,580	806						
		総事業費(A+B)		36,258	22,070	107,969	78,071	9,643							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		36,258	22,070	107,969	78,071	9,643							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
			一般財源	36,258	22,070	107,969	78,071	9,643							
財源計(C+D)		36,258	22,070	107,969	78,071	9,643									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田土木興業(株)										
				②	竹中管工(株)										
				③	合同電設(株)										
		主な委託内容		朝日が丘児童センター大規模改修工事											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	定期的に施設の安全点検を行い、より安全な施設設備を提供するため、改修工事等を行います。			目標	施設の長寿命化のため、開館から概ね30年を目標に児童館に必要な改修工事を行い、安全な施設の提供を目指します。
	②	成果内容	開館32年目の朝日が丘児童センターについては、大規模改修工事を実施。			達成状況	より安全で、快適に乳幼児とその保護者、児童が過ごせる場所となりました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		耐震補強工事については完了しているが、その他の改修工事については児童の安全性に関わる部分や老朽化の著しい部分等の今後の継続使用のために必要最低限の改修を行う予定です。平成29年度には豊一児童センターの外壁改修工事実施予定です。				

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	児童会館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01411				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01411
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	18	有効性	15	効率性	2	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価点数														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	2														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	施設の長寿命化のため、開館から概ね30年を目途に児童館に必要な改修工事を行い、安全な施設の提供を目指している。														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	子育て支援情報事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	市川 泉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容						
(2) 直近の改正								
(3) 根拠法令等	子ども・子育て支援法							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	03 健康で安心して暮らせるまちづくり	節	01	細節	11		
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	範囲等	市民及び本市への転入検討者						
	目標 (どういう状態にしたいのか)	教育・保育施設等の利用希望者の利便性の向上及び窓口の混雑緩和						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	子育て支援に関する情報提供を充実させます。						
(7) 事業概要	子育て中の保護者が求める教育・保育施設等を絞り込む施設検索システムを導入した子育て支援サイトの維持、管理をするとともに、各種子育て支援に関する情報提供をさらに充実させることにより、利用者の利便性の向上を図ります。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	5,288	208	207	208	
	人件費	職員数	人	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20
		総額(B)	千円	0	1,608	1,634	1,580	1,611
	総事業費(A+B)		0	6,896	1,842	1,787	1,819	
	特定財源(C)		0	5,288	0	0	0	
	(内訳)	国		0	5,288	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	1,608	1,842	1,787	1,819	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	1,608	1,842	1,787	1,819		
財源計(C+D)		0	6,896	1,842	1,787	1,819		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)アスコエパートナーズ				
			②					
			③					
	主な委託内容		施設検索システムの保守					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:人)	4,625.00	4,866.00	/
			実績値	(単位:人)	4,712.00	12,292.00	
			達成度(%)		101.9	252.6	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.12	0.02		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	子育て支援サイトの情報の更新と維持・管理。		目標	子育て支援施策の情報発信を充実、強化する。	
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		施設検索システム等を追加した平成27年10月以降、行政サービスガイド「すくすく」の閲覧回数を飛躍的に伸ばすことができました。今後も、常に最新の情報が提供できるように努めていきます。				

事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	子育て支援情報事業	事業区分	その他
事務事業番号	01675				

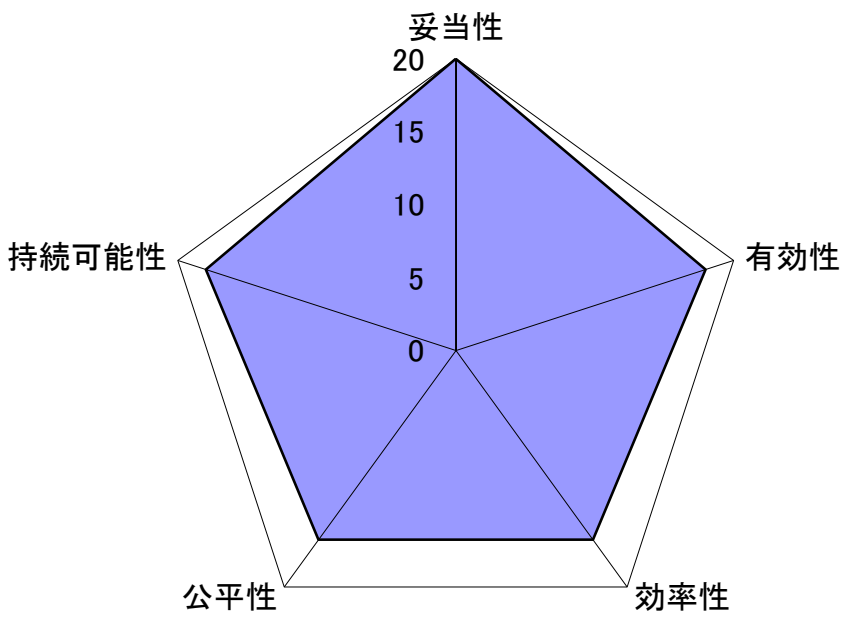
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01675
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子育て支援施設を検索できるページに新規開設施設を追加し、また掲載している制度の内容を修正するなど、子育て支援施策の情報発信を充実強化し、利便性向上を図りました。閲覧数が増加していることもあり、ますます情報提供の充実が求められています。また、新たな情報について掲載するまで時間がかかることがあるため、より即時性の高い情報提供ができるように工夫していきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)